

NO. 1	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	9	竹 田 努	
<p>1. 木古内町が誇る特産品を活用したグルメ開発について</p> <p>当町は、山と海に囲まれ自然豊かな環境に恵まれ、特産品も多く有している町だと自負しております。</p> <p>また、町内の飲食店では、創意工夫のもと、それぞれの特徴を出して営業しているところです。</p> <p>過去には、「ホタテ炙り丼」という特産品である「ホタテ」を活用したメニューが町内の飲食店で提供されておりましたが、現在は、「ホタテ」の生産量の減少等に伴い、飲食店でも休止していると伺っております。</p> <p>今後、交流人口の増加を目指す一つの方法として、特産品を活用した新たなグルメ開発を官民一体となって研究開発し、町全体でPRする事が必要だと考えますので、町長の見解を伺います。</p>			町 長
<p>2. 令和4年度教育行政執行方針について</p> <p>教育行政執行方針については、新型コロナウイルス感染症と向き合った中での方針作成には、大変苦慮したものと思います。</p> <p>今定例会で提出された教育行政執行方針に記載してある下記事項について、教育長の見解を伺います。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策における施設の利用制限等に係る近隣町との連携について</p> <p>(2) 登下校時の安全対策としての冬期通学路の対応について</p> <p>(3) 小中学生に対する今後の支援策について</p> <p>(4) 高校への町独自の推薦制度に係る教育行政の視点からの考え方について</p>			教 育 長

3. 高齢者福祉と令和4年度町政執行方針について

町 長

鈴木町政となり約2年が経過しており、就任以来、新型コロナウイルス感染症と向き合いながら、子育て支援策や一次産業支援等の施策が実施され、今後の更なる施策展開に期待する一方で、既存事業の見直しも必要と考えます。

また、現状、高齢者福祉に関する施策が乏しいように思います。当町においては、高齢化率も約50%となり、町民の半数が高齢者のまちをどうしていくのか課題だと感じています。

令和4年度町政執行方針を見ると子育ての重点施策が目につき、高齢者にも目を向けた施策を展開することに期待することから、高齢者福祉と令和4年度町政執行方針の下記事項について町長の見解を伺います。

(1) 高齢者の免許返納について

高齢になっても、当町では移動に車が必要な高齢者が多くおり、免許返納できない状況にありますので、自主的に返納しやすい環境づくりが必要と思うがいかがか。

(2) 補聴器等に関する補助制度の導入について

(3) 米寿や喜寿等、高齢者のお祝い制度について

(4) 後期高齢者（75歳以上）に対する脳ドック検診について

(5) 高校への町独自の推薦制度の内容について

(6) 無償分譲地以外の町有地利活用について